

■島津斉興 薩摩藩主。幕末の困難な時期に、重豪を引継いで薩摩藩を起死回生せしめるも、お由羅騒動の汚名を被る。

しまづなりおき
混浴禁止・・・1791＝ 生まれる。父は斉宣。参議従三位まで昇進。豊後守、のち大隅守。

松平定信引退1793＝ 2歳：

伊能測量始・1800＝ 9歳：

いざ乃来航・ 1804＝13歳： 斉興と改名。

浮世風呂・・・1809＝18歳： “近思録崩”のあと家督を相続するが、隠居重豪が政務を介助、
主立ったことのみに心添えするということにした。

水野忠成老中1818＝27歳：

・・・・・・1820＝29歳： *ようやく自立して親政を開始したが、
_儉約につぐ儉約、懸命の努力にもかかわらず、家中扶持米・人足夫飯米も渡方渋滞を常とし、江戸諸人数
賄方なども滞り、諸買物代金の支払いも数年にわたり滞った。また藩邸中は手入れ不行き届きのため草が長
じて馬糞にするという荒れ様、大名として大切な参勤交代の費用にも事欠く窮状に陥る。

日本外史・・・1827＝36歳： *そこで重豪に相談の上、調所広郷を抜擢して財政改革にあたらしめる。

改革の目標は、
富籤流行・・・1830＝39歳： この年、5百万両(銀32万貫)の巨額に達した藩債に対して、
富籤三十六景1831＝40歳： 以降、十ヵ年の間に、①50万両を貯蓄すること、②ほかに江戸幕府への納付金ならびに非常手当金を用意す
ること③古借証文を回収することの三つであった。
天保大飢饉始1833＝42歳： *重豪が死去してからも、不動の信任を調所に与えて、その手腕を発揮させ、

・・・・・・1836＝45歳：
大塩平八郎乱1837＝46歳： モリソン号事件、

勅進帳初演・1840＝49歳： アヘン戦争の勃発など外圧の強まる中、
_君臣の信頼関係、血のにじむような努力が功を奏して、一変して薩摩藩は富強の藩となった。これを、薩
摩における“天保の改革”といい、日本史上の奇跡であった。

天保改革終・1844＝53歳： 英・仏・米軍艦の琉球来航、通商・キリスト教布教の要求などの外警が重大化してきたことから、藩内部
における新旧政権の一大転換が求められ、調所とともに努力をしたが、

阿部正弘首座1845＝54歳：

・・・・・・1848＝57歳： _過去の密貿易を暴かれた調所が自殺するに至り、姑息な手段ではもはや役に立たなくなり、世子斉彬の登
場が幕府・諸藩・群臣の間に待望された。

尊徳報徳論・1851＝60歳： *隠居を肯んぜず、斉彬襲封のため過激手段をとろうとした近藤隆左衛門・高崎五郎右衛門温恭らの朋党40
数名を鋸引・磔刑・切腹・遠島その他の刑に処して鎮圧をはかったため(“高崎崩(お由羅騒動)”，幕府から
隠居を強いられることになり、

ペリー来航・1853＝62歳：
開国開港・・・1854＝63歳：
隠居後は玉里御殿で老を養い、

安政の大獄・1859＝68歳： _没した。
お由羅騒動との関係でそしられるが、薩摩藩を起死回生せしめた名君であった